

國學院大學法学部 「講義計画」の作成にあたって

- (1) 國學院大學法学部ではセメスター制を採用し、1セメスター15回（1回の授業時間は90分）で完結する授業を行い、これを2単位として認定することを原則としております。講義科目「国際関係史A」は、1セメスター・2単位の科目として開講されておりますので、ご提出いただく「講義計画」でも、15回分のものを作成してください。また、上記科目は対面授業で開講されることを前提に講義計画を作成してください。
- (2) 「国際関係史A」および「国際関係史B」は、それぞれ1年次配当の半期2単位の選択必修科目であり、通常、同一年度に、前期に「国際関係史A」、後期に「国際関係史B」をご担当いただきます。両科目は、主として国際秩序・国際関係に関わる諸問題を（経済・社会・外交といった分野を含め）広く対象とし、近代主権国家体系の形成からポスト冷戦期に至るまでの国際秩序の歴史的な変遷や構造的な特徴、現在の国際問題の背景を解説することを目的としています。
- (3) 今回の講義計画は、「国際関係史A」についてのみご執筆いただきます。ご執筆の際、「国際関係史B」の内容との連続性を考慮していただいて構いません。その際、「講義計画」の末尾の「注意事項」欄に「国際関係史B」でとりあげる内容を簡潔にご記入下さい。
- その他に開講されている科目も含め、科目配置の全体像などについては、本学ウェブサイト掲載の履修要綱（<https://www.kokugakuin.ac.jp/student/tuition/p6>）やカリキュラムリスト&ツリー（<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/law/curriculum>）などをご参照ください（なお、ご参照にあたっては、現在の主要なカリキュラムの運用が開始された平成30年度（2018年度）以降のものをご利用ください）。
- (4) 講義計画は政治専攻の学生向けの講義を念頭に置いてご執筆下さい。政治専攻の学生に関しては、カリキュラム上、同じく1年次に配置されている「国際政治入門」「20世紀の政治B」「西洋政治史A」「西洋政治史B」と密接に関連づけて学修されること、さらに、2年次以降の「国際政治A」「国際政治B」「日本外交史A」「日本外交史B」などの科目の学修の基盤となることが想定されています。加えて、「アメリカの政治」「アジア政治史A」「アジア政治史B」（いずれも2年次配置）や「平和学」（3・4年次配置）等のより個別的な理解を求める科目に接続するようになっています。
- 法律学科各専攻の特質や科目展開などについては、前掲サイトのほか、本学ホームページの「3専攻制とコース制」にある「各専攻の特色」および「法学部の学士課程教育3ポリシー」にある「教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」をご覧ください（<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/law/about>）。

以上